



**浜の母さん出前料理教室** 歯舞マリビジョン協議会による料理教室が3日間にわたり開かれ、根室西高校の2年生がサンマなどの身おろしに挑戦しました。試食会では、見事な出来栄に満足の笑顔があふれました。(10月8日:根室西高校)



**前原内閣府特命担当大臣来根** 沖縄・北方対策を担う前原大臣が根室を訪れ、運動関係者や元島民との懇談会を行い、翌日、納沙布岬から北方領土を視察した大臣は、領土問題解決への決意を示しました。(10月17日:納沙布岬)



**姉妹都市黒部市スポーツ交歓会** 富山県黒部市からスポーツ交歓団が来根し、パークゴルフを通じて交流を深めました。当日は好天に恵まれ、両市の選手が好プレーを展開しました。(10月4日:市パークゴルフ場)



**リサイクル青空バザール** 根室市環境衛生月間の一環として行われているバザールに49店舗が出店し、フリーマーケットを開きました。古着などがずらりと並ぶ会場は、掘り出し物を求める市民でにぎわいました。(10月4日:市役所前駐車場)



司書の仕事は、本と同じだけ多くの人と関わる仕事です。日々自分を奮い立たせながら、人と本をつなぐために、カウンター業務をはじめ図書館の充実に励みます。

司書補 中村 英博

例えば図書館では、市民の皆さんや遠来から寄せられるさまざまな質問や疑問にお答えしています。多種多様な質問を解決するための、適切な資料を調べて提供することを参考業務(レファレンスワーク)といい、この調査をする能力はとても大切です。そのためには、本や資料に精通することと合わせて、人とのコミュニケーションを図ることも必要とされます。この両方の能力の向上により、図書館司書としての存在価値を高めていけるのです。

ここで行われる貸し出しなどの業務は、単に本の受け渡しという作業だけではなく、要求される資料や情報を、的確に探し出し提供することです。この継続で得られる仕事の蓄積が、その後の蔵書とサービスに反映します。カウンター業務でまず心がけていることは、来館される皆さんを心を込めた笑顔とあいさつで迎えることです。それが、気持ちの良い利用につながるのではないかと思います。カウンターでの「心を込めた貸出業務」は、人と本をつなぐためのサービスの基本であり、指針でもあります。図書館への信頼を育てるには、このような日常業務と、地味でも縁の下となる業務をしっかりと行うことだと思います。

## 人と本をつなぐために

図書館職員(司書)にとって、カウンター業務は利用者として接する最も大切な仕事です。利用者と本を結ぶことにより、さまざまな要求や声を知り、選書の手立てにもなります。



静かな憩いのときを

あなたの図書館で  
TEL(23)5974番